



環境活動レポート 2015年度



～人の心も結びつけて～

静岡県焼津市三ヶ名253番地

<http://www.neji-suzuki.com>



(株)鈴木商店

組織の概要



- ◆ 会社商号 : 株式会社 鈴木商店
- ◆ 本店所在地 : 〒425-0071 静岡県焼津市三ヶ名253番地
- ◆ 浜松創庫 : 〒435-0052 静岡県浜松市東区天王町154-1
- ◆ **対象範囲** : **上記全てを含む**
- ◆ 創業 : 1970年
- ◆ 設立 : 2008年1月4日
- ◆ 資本金 : 500万円
- ◆ 営業目的 : 螺子類の卸売業及びその輸出に関する貿易業務
- ◆ ① 特殊冷間圧造品 ② 一般JIS規格品 ③ その他締結部品
- ◆ 役員構成 : 代表取締役 鈴木 弘朗
専務取締役 鈴木 純子
- ◆ 環境管理責任者 : 鈴木 純子
- ◆ 担当者連絡先 054-628-6183
- ◆ 対象期間及び発行日 : **2015年1月~12月**
(2016年7月発行)



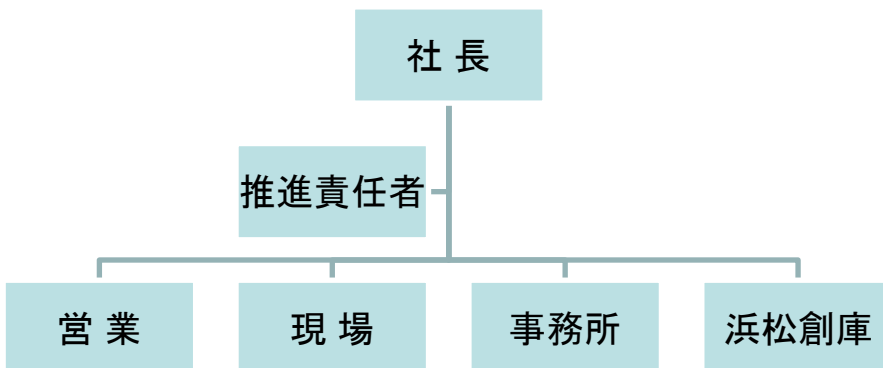
(株)鈴木商店

事業の規模



	単位	平成25年	平成26年	平成27年
売上高	百万円	451	445	441
従業員	人	6	5	6
床面積	m ²	290	410	410
取り扱い数量	万个	13,536	13,419	13,341

環境経営システムの実施体制



環境管理組織における機能

経営責任者 社長

- ・環境経営全般に対する責任と権限
- ・環境方針の作成と社員への周知

環境管理責任者 (エコリーダー)

- ・環境経営活動の推進
- ・環境目標及び環境計画の作成

環境事務局 (エコアクション21)

- ・データのまとめ、実績管理、放棄管理、文書管理
- ・環境負荷、環境への取り組み自己チェック実施

環境目標



項目	単位	H24年度 基準年実績	H25年度 目標	H26年度 目標	H27年度 目標	
CO2総排出量の削減 ①+② H25年基準にH28年までに 2%減 売上比率から換算すると、 14%減	kg-CO2	7,846	8,306	11,494	13,692	
			H25より3%減 なりゆき8,563	H25より6%減 なりゆき12,228	H25より14%減 なりゆき15,921	
	売上(千)	440,418	480,650	686,400	893,700	
①総エネルギー投入量の削減	kg-CO2	8,400	8,211	12,326	14,720	
A. 購入電力の削減	kWh	9,629	10,705	15,803	18,099	
B. 灯油の削減	ℓ	0	0	0	0	
C. 軽油の削減	ℓ	382.65	270	500	610	
D. ガソリンの削減	ℓ	1,236	1,288	1,600	2,015	
②廃棄物の削減	kg-CO2	332.8	351	494	572	
A. 一般廃棄物の削減	新聞紙	kg	166.44	110.96	←	←
	ダンボール	kg	3,540	2,100	←	←
	雑誌	kg	45.28	24.61	←	←
B. 産業廃棄物の削減	色プラ	kg	16.7	9	←	←
	PPバンド	kg	56.78	34.8	←	←
	油つき	kg	40.5	135	190	220
	燃えるゴミ	kg	87.32			



(株)鈴木商店

環境方針



☆ 環境基本方針 ☆

2009年 1月13日制定

株式会社 鈴木商店は、螺子卸売業という事業を行うにあたり、地球があって、地域社会が在り、企業が存在できるのだという事を根底として忘れず、常に地球に優しい活動を志し、環境保全のサイクルを廻しながら企業を永続させていくことを環境の理念とする。

☆ 基本方針 ☆

環境負荷活動に積極的に取り組み、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の低減に努めます。

電気、ゴミ、水道、ガソリン等の削減の取り組みをします。

販売促進に繋がる環境対応商品の調達と販売に努めます。


環境関連法令の遵守を励行します。

環境法令について、積極的に学ぶ機会を作り、法規遵守に努めます。

環境活動への取り組みで、企業体質を改善し、顧客満足度を高めます。

エコミーティング等で、環境活動を推進し、支援します。

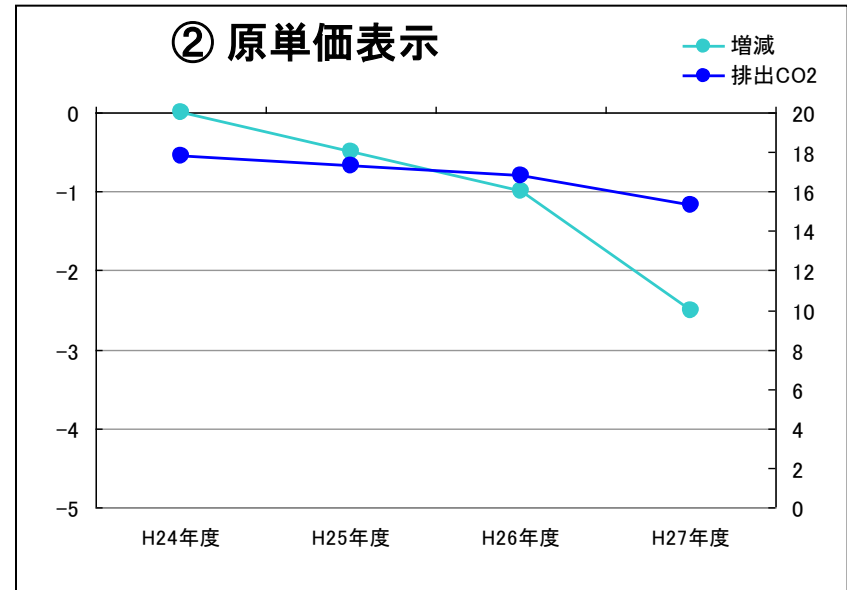
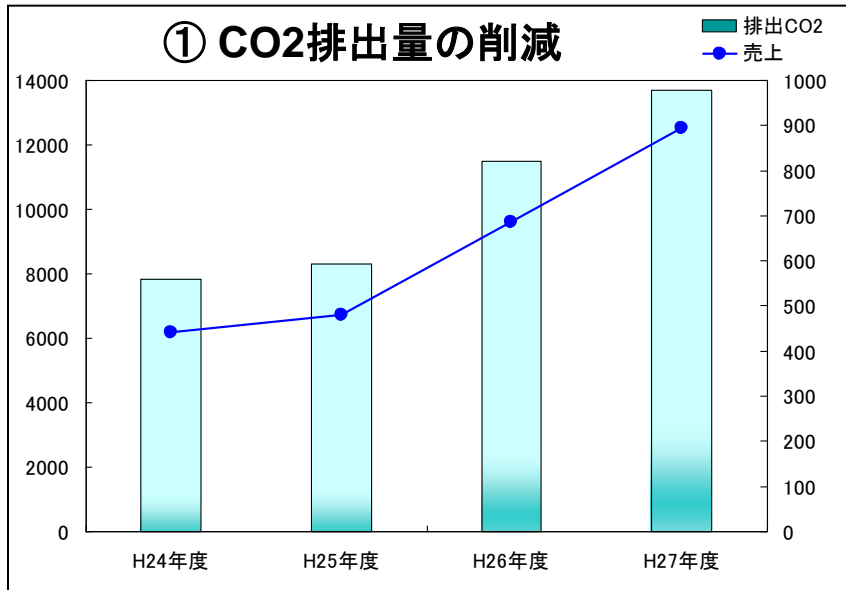
株式会社 鈴木商店

鈴木弘朗 

中長期目標



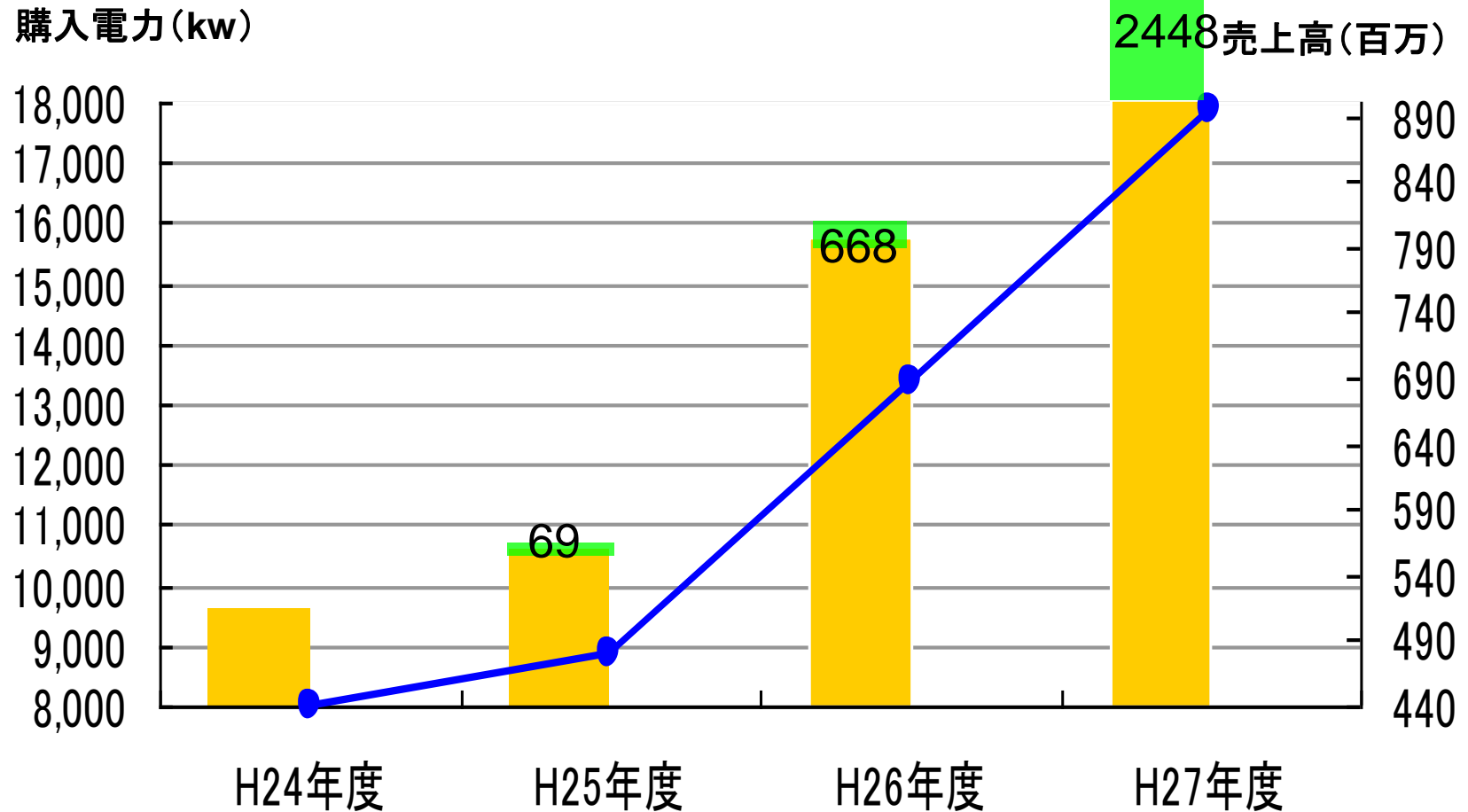
項目		H24年 基準年実績	H25年度 目標	H26年度 目標	H27年度 目標
①CO2排出量の削減	排出量 CO2	7,846	8,306	11,494	13,692
	売上(百万)	440	480	686	893
②原単価表示 (100万当り)	排出量 CO2	17.8	17.3	16.8	15.3
	増減	0	△0.5	△1.0	△2.5



購入電力削減目標



購入電力(kw)



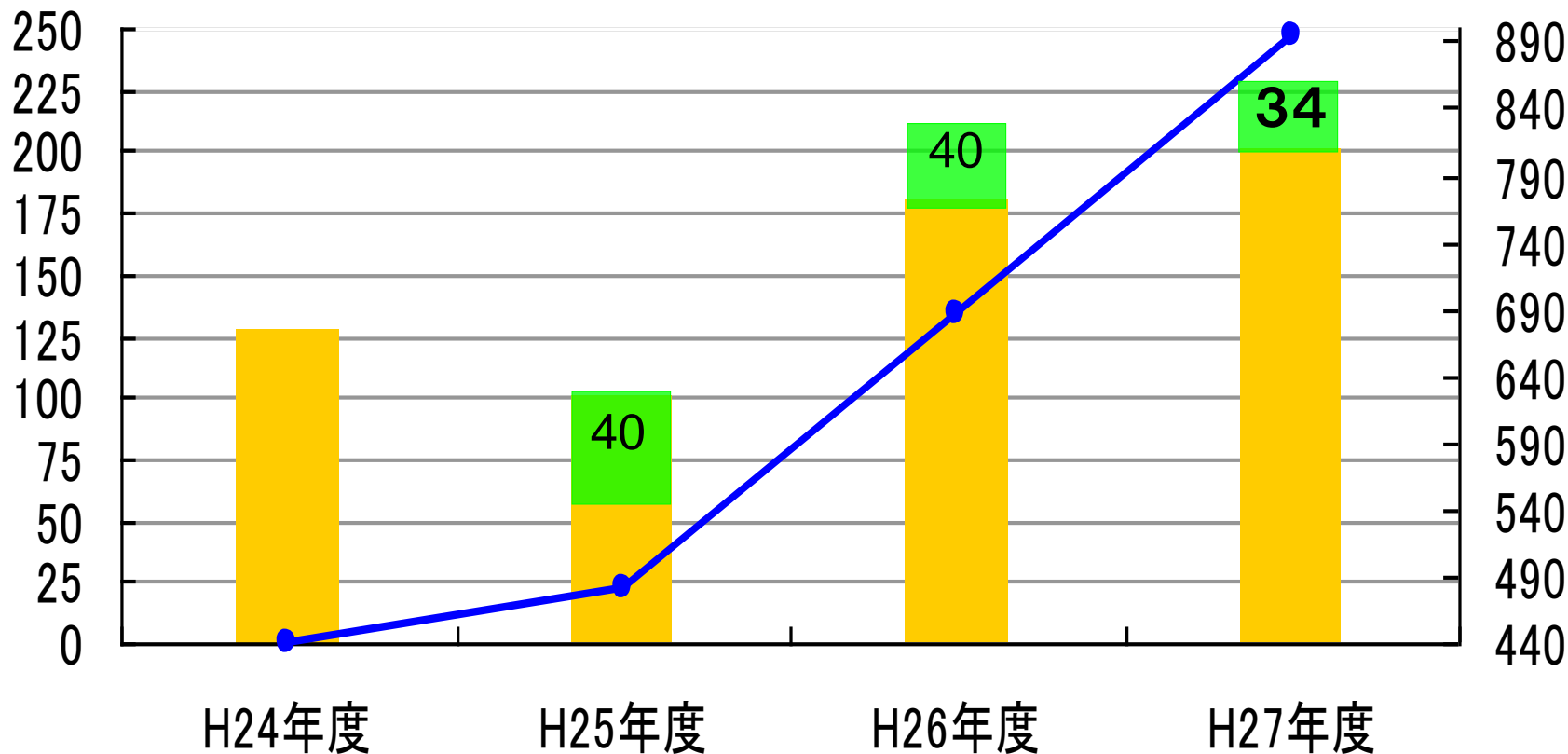
■ 電気量(kw) ■ 削減量 ● 売上

事業系廃棄物削減目標



ゴミ使用量(kg)

売上高(百万)



削減量
 ゴミの使用量
 売上



(株)鈴木商店

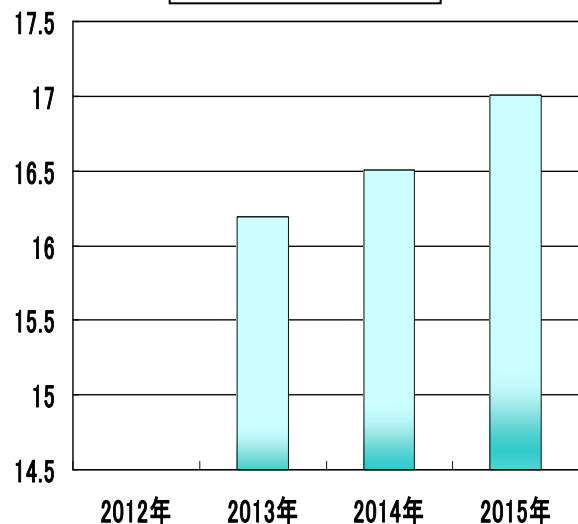
自動車燃費目標



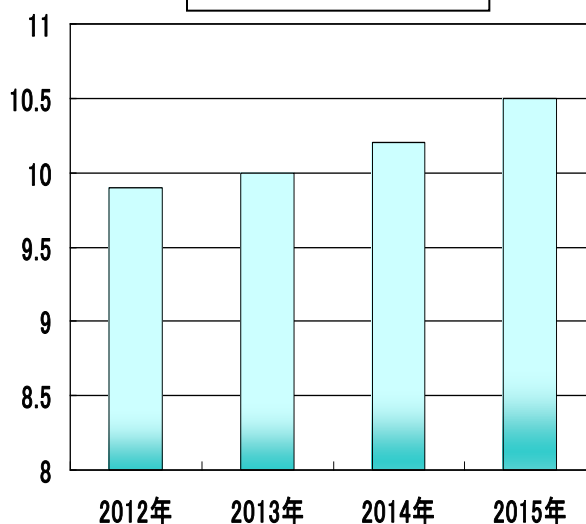
	ヴィッツ	カローラ	タウンエース	トラック	目標
24年度		14.39	9.9	6.42	
25年度	16.19		10	6.48	1%
26年度	16.51		10.2	6.61	2%
27年度	17.01		10.5	6.81	3%

※カローラはH24年10月に廃車になった。
 ※ヴィッツはH25年5月に購入した。

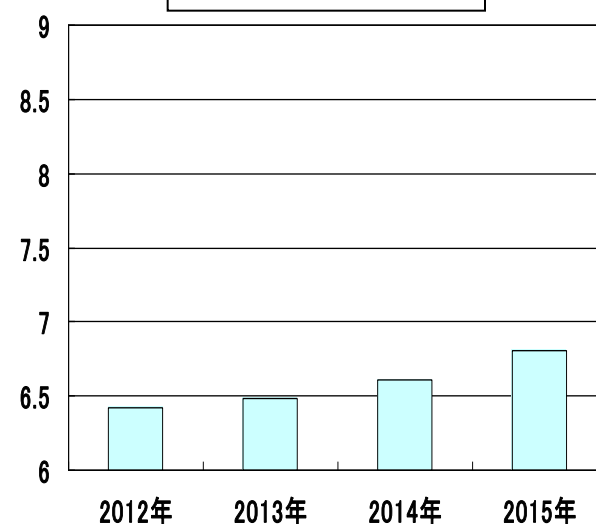
ヴィッツ



タウンエース



トラック

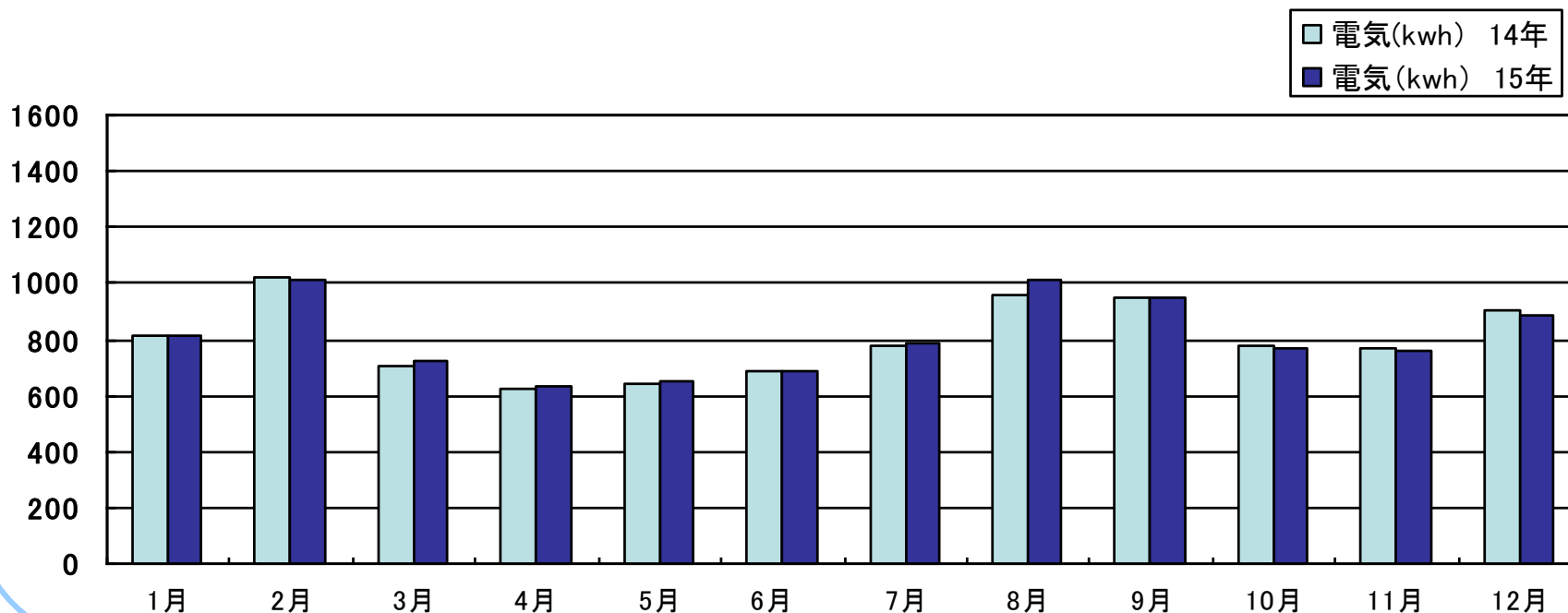


(本店)電気使用実績



購入電気量 推移(kwh)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
14年	815	1,020	705	625	641	691	774	955	951	776	769	907
15年	813	1,015	721	634	652	684	785	1,014	948	768	763	889

電気使用量 推移



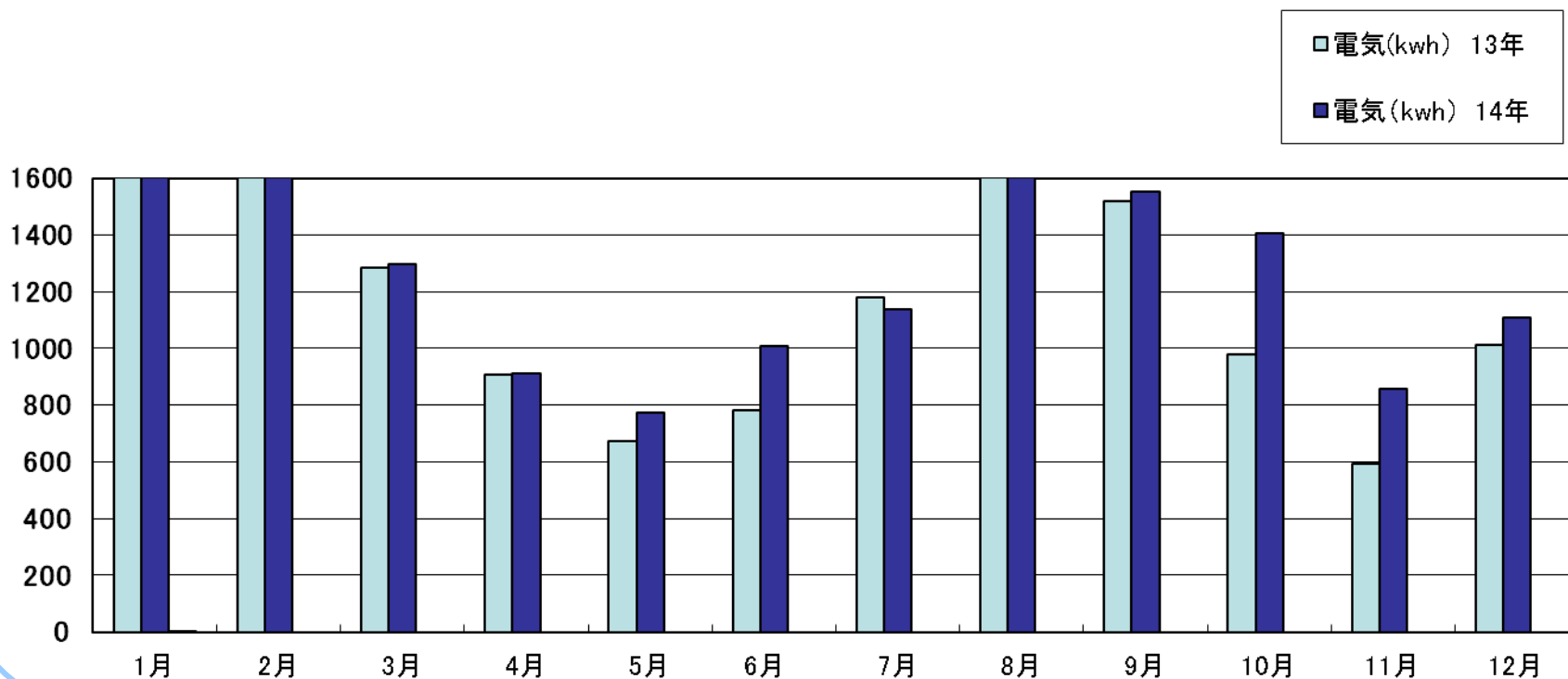
(浜松創庫)電気使用実績



購入電気量 推移(kwh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
14年	1,702	1,908	1,283	907	674	781	1,178	2,178	1,520	980	593	1,012
15年	1,604	1,622	1,297	912	773	1,007	1,137	2,024	1,551	1,406	859	1,109

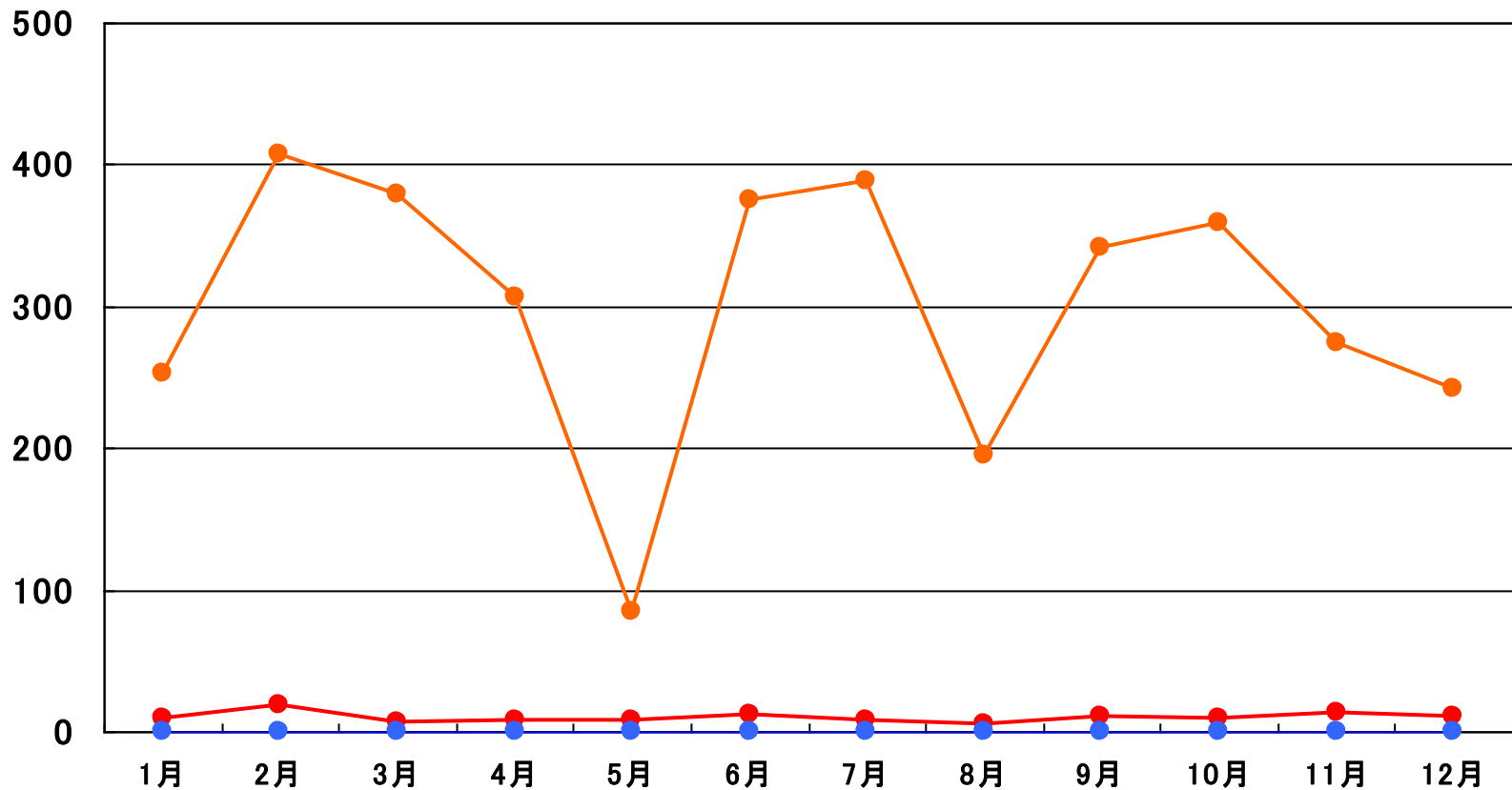
電気使用量 推移



ゴミの使用実績



- ゴミの使用量(15年)単純焼却
- ゴミの使用量(15年)熱回収
- ゴミの使用量(15年)再利用

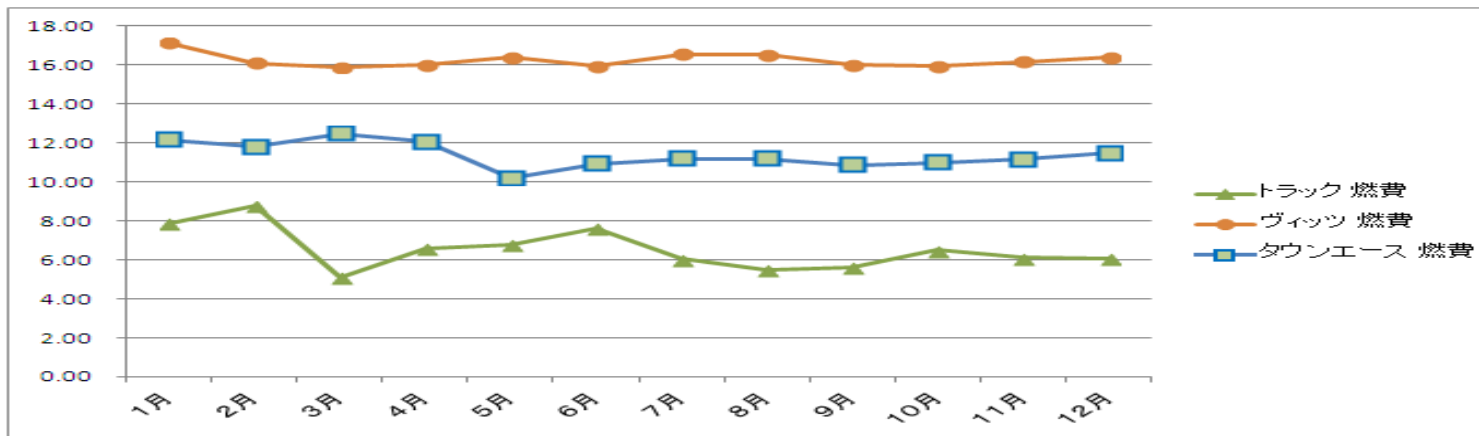




自動車燃費推移

	トラック			ヴィッツ			タウンエース		
	走行距離	使用量	燃費	走行距離	使用量	燃費	走行距離	使用量	燃費
1月	364	46.25	7.87	1430	83.51	17.12	562	46.25	12.15
2月	438	50.01	8.76	1054	65.43	16.11	384	32.57	11.79
3月	184	36.04	5.11	993	62.47	15.90	293	23.51	12.46
4月	225	34.11	6.60	951	59.41	16.01	398	33.01	12.06
5月	254	37.35	6.80	1250	76.23	16.40	178	17.45	10.20
6月	181	23.76	7.62	914	57.41	15.92	183	16.77	10.91
7月	174	28.84	6.03	1083	65.43	16.55	252	22.54	11.18
8月	151	27.55	5.48	962	58.28	16.51	462	41.28	11.19
9月	164	29.23	5.61	954	59.64	16.00	365	33.64	10.85
10月	174	26.83	6.49	963	60.36	15.95	358	32.54	11.00
11月	168	27.51	6.11	1067	65.98	16.17	368	33.04	11.14
12月	151	24.86	6.07	1284	78.36	16.39	359	31.29	11.47

車両燃費 推移 (単位 km/ℓ)



環境活動計画と評価



取組目標	実施項目	時期	担当	スケジュール												評価	対策
				運用期間													
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
購入電力 (生産量当り) 1%減	(1)生産性向上による 購入電力の削減	通年	鈴木弘	毎月の幹部ミーティングで各月の取組内容を決め実行する。												△	再度検討
	①荷揃え準備短縮	通年	山口	毎日の荷揃え時間をチェックで効率の良い作業方法の確立と省エネを両立												○	
	②最適在庫の見直し	通年	山口	出荷内容を把握し、毎月の最適在庫の内容と数量を見直します												○	
	③エアコン使用期間の見直し	通年	鈴木純	使用時期、使用時間を徹底し実施する												○	
	(2)非生産時間の電力 使用の見直し	通年	山口	昼休みや業務時間外の電力消費の削減の取組												○	
	①休憩時間の消灯	通年	山口													○	
	②省エネ器具の検討	後期	鈴木弘	省エネエアコン検討												△	再度検討
	③節電推奨の掲示	前期	山口	見易い掲示へやり直し												○	
灯油購入 1%減	(1)冬場のストーブ 使用時間の設定(表示作成)	中期	山口													△	再度検討
	(2)ウォームビズの励行	後期	鈴木純	冬用のズボン、防寒ジャンパー用意												○	
ガソリン購入 1%減	(1)エコドライブの励行 走行距離と燃費チェック	通年	服部	毎月の走行距離で燃費をチェック												○	来年度も 引き続き
	(2)最短ルートを選択	通年	服部	目的地まで最適ルートで行けているか(前期で調査、後期で実行)												△	来年度へ
一般廃棄物 削減2%減	(1)コピー用裏紙活用	通年	山口	裏紙入れつくる。カウント準備												○	引き続き
	(2)ダンボール再利用推進		山口													○	
産業廃棄物 削減2%減	(1)法規制の把握	前期	堀													△	来年度へ
	(2)置き場設置と表示		山口	置き場スペースの確保と表示の徹底												○	
上水の削減	節水活動のみとする	通年	山口													○	
防災対策	防災対策(棚の耐震補強)	通年	山口	棚のレイアウトを変更した場所の耐震補強												△	来年度へ
	地震予測強化	通年	鈴木弘	備蓄準備、定期的な防災訓練実行												△	引き続き
環境学習	ISO14001学習	1回/年	鈴木純	ISOの学習												△	来年度へ
	環境学習	2回/年		環境勉強会												○	
	エコ活動(研修参加など)	3回/年														△	来年度へ



平成27年度 環境責任者の反省と今後の目標



この環境レポートを作成するにあたり、日頃よりエコのデータ資料をしっかりとまとめられていなかったこと、また、社内の品質問題等で、EA21活動の引継ぎが出来なかったことにより、必要以上に時間がかかってしまい提出期限が遅れ、エコアクション関係者様に多大なるご迷惑をお掛けしてしまいましたことを、この場をお借りしまして御詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。

今後は、エコアクションを継続し続ける為に、新たに採用された社員に環境教育とEA21の活動を理解して新たにEA21活動体制を再構築していくことを考えていますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

エコアクションの社内活動内容が、担当者には把握されていなかったため、この環境レポートの作成方法も含め、全社員でEA21活動ができる組織の再構築に取り組んでいきたいと考えております。

環境負荷の少ない製品を拡大していく過程で、新製品であるが故の品質クレームが多発してしまいました。事業活動を通じて、直接二酸化炭素排出量を削減するとともに、販売する製品を通じて間接的にも二酸化炭素排出量の削減に貢献できる事業活動をしていきたいと考えております。

EA21活動をすることにより、無駄のない事業活動と不良品を出さない組織作りが出来れば、会社のプラスにも繋がっていく。エコアクションは忙しい時だからこそ必要なことだと改めて痛感しています。

新たに採用した社員を含めて、改めて環境活動とは何かを、社内で勉強会を開き、社内全体での環境活動を推進していきたいと思っています。



株式会社 鈴木商店
環境責任者 鈴木純子



平成27年度 経営責任者の反省と目標



当社ミッションの3本柱の一つに、「環境経営で、地球の笑顔を取り戻します」というフレーズがあります。毎朝、朝礼で唱和し社員が暗記している言葉です。

しかし、社員の殆どが急に退職してしまったことからの再建途中に環境負荷の少ない製品を拡大していく過程で、新製品であるが故の品質クレームが多発してしまい、環境活動を実施することよりも事業活動を継続することが最優先課題となってしまいました。

新しく入社した社員に対して、EA21環境活動の意識を浸透させていくことが急務と考えています。

もう一度基本に戻り、環境活動を通じて、仕事に対する楽しみを社員に覚えてもらうことが、品質クレームの削減にもつながり、事業活動を継続していく上で最も大切なことと思います。

エコアクションの活動を通じ、二酸化炭素排出量を毎月把握しながら、PDCAを廻して、楽しく環境活動を継続して行く・・・、継続することが環境活動及び事業活動の基本であると再認識しています。

これからも、事業活動全体を見渡し、どんな点が、地球環境に貢献出来ているのか、社員が楽しく・自主的に活動しているか、見極め、社員の笑顔を取り戻す活動を推進し、事業発展に繋げていく所存です。

これからも関係各位のご指導、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

株式会社 鈴木商店
代表取締役 鈴木 弘朗



あとかき～環境活動に込めた想い



近年、異常気象による自然災害が頻繁に起きています。

「異常気象」は地球温暖化などによって今後増加しうるものだという見方が強く、「異常気象の増加」や「異常気象のリスクの増加」に対する備えをみんなで考えなければなりません。

私達人間は地球上で一番賢く強い生き物だ。その人間が一番地球を汚染している。自分のことしか考えていないことに気付いて、地球全体の環境を意識する人々が増えていくことと思っています。

人間も動物も花や虫達も、全ての生き物は、この地球という星に生きている...いや、この星に生かされている。地球が無くなったら明日は来ない。

現在に生きる私たちは、この厳しい現実を打開するため懸命の努力を払い、21世紀を胸を張って「環境の世紀」と呼べるような形で、未来世代に引き継ぐ重い責任を負っています。

今日が終わり明日がやってくる、空には星が光り春から夏へと季節は巡る。全ては当たり前ではない...このことを忘れず、日々生かされていることに感謝していきたい。

そのために、EA21の活動を事業活動の根本として再構築していく所存です。



株式会社 鈴木商店
環境責任者 鈴木純子